

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化、看取りに対する指針は重要事項説明書に記載しており、入所時に家族へ説明、同意をもらっている。入所後もその都度家族へ状態を報告し支援内容、方向性を検討している。課題としては緊急時の対応や終末期に向けた方針、対応が口頭のみで書面化していないことである。	緊急時、終末期に向けた方針、対応を書面化し家族に説明、同意を得て職員が安心して支援できるような環境を作る。	緊急時、終末期に向けた方針、対応がどの範囲まで可能であるかを施設で話し合い作成し、ご家族に説明、同意を得るようにする。	10ヶ月
2	35	年に2回の消防避難訓練を実施しており公民館長、民生委員の方達にも運営推進会議等で協力の要請を打診しているが、地域の消防団までは協力を要請をしていない。また、消防避難訓練だけでなく他の自然災害対策訓練を行わなければならない。その他、災害時の備蓄品を確保していない。	地域の消防団の協力要請を行う。 自然災害対策訓練を行う。 災害時の備蓄品の確保を検討する。	公民館長、民生委員を通し地域の消防団の協力要請を行う。(公民館長、民生委員には打診済み) 消防避難訓練に加え、地震・水害・土砂災害等の訓練を行う。(2月に実施予定) 備蓄品に関するの情報収集と確保しておくかの検討を行う。	12ヶ月
3	6	現在はやむを得ず身体拘束を行わなければならない利用者はいない。身体拘束をしないケアの意識をどれだけ持って支援しているのかは職員間で個人差があるのが現状である。	身体拘束ゼロを目指す。	定期的な外部、内部研修を行うと共に、日々の業務の中で職員間で声を掛け合い、意識しながら身体拘束をしないケアを提供する。やむを得ず必要なときは正しい手順を踏んで行い、1日でも早く廃止できるような体制を整える。	12ヶ月
4	11	楽しく、働きやすい職場となるよう会社役員、管理者、職員分け隔て無く意見交換やコミュニケーションを取り業務を行っている。	今以上に協調性を重んじ楽しく、働きやすい職場環境の構築に努める。	役員、管理者との定期的な個人面談を行い、業務内容、労働環境等の意見や提案がしやすい環境を作りストレスが溜まらない様な職場環境を構築する。また、誰でも気兼ねなく話し相談できるような関係ができるよう会社全体で取り組む。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。